

原市場聖書教会

NO. 861

週 報

年間聖句

20, しかし、私たちの国籍は天にあります。そこから主イエス・キリストが救い主として来られるのを、私たちは待ち望んでいます。

21, キリストは、万物をご自分に従わせることさえできる御力によって、私たちの卑しいからだを、ご自分の栄光に輝くからだと同じ姿に変えてくださいます。

ピリピ3章20～21節



2021. 10. 3

主 日 礼 拝

2021年 10月 3日

礼拝奉仕者

説教：若村和仁師 司会：本多崇兄 奏楽：本多こずえ姉 献金：渡辺恵姉
受付：本多祐子姉

祈	り		司 会 者
今 月 の 賛 美		「主はぶどうの木」	一 同
使 徒 信 条			一 同
主 の 祈 り			一 同
賛 美		聖歌332番「かいぬしなる主よ」	一 同
献 金			一 同
感 謝 の 祈 り			渡 辺 恵 姉
聖 書 朗 読		創世記23章1節～20節	司 会 者
説 教		「地上の旅を終えたサラ」	若 村 和 仁 師
黙 禱			一 同
賛 美		聖歌472番「人生の海のあらしに」	一 同
聖 餐 式			若 村 和 仁 師
賛 美		福音賛美歌259「ともにパンを分け合おう」	一 同
頌 栄		聖歌383番「ちち・みこ・みたまの」	一 同
祝 禱			若 村 和 仁 師
後 奏			奏 楽 者
報 告			司 会 者



●コロナウィルス感染が落ち着くまで
昼食会はお休みいたします。



「地上の旅を終えたサラ」

聖書 新改訳 2017 2017 新日本聖書刊行会より抜粋

メッセージ聖書箇所

創世記23章1節～20節

- 1, サラの生涯、サラが生きた年数は百二十七年であった。
- 2, サラはカナン地のキルヤテ・アルバ、すなわちヘブロンで死んだ。アブラハムは来て、サラのために悼み悲しみ、泣いた。
- 3, アブラハムは、その亡き人のそばから立ち上がり、ヒッタイト人たちに話した。
- 4, 「私は、あなたがたのところに在住している寄留者ですが、あなたがたのところで私有の墓地を私に譲っていただきたい。そうすれば、死んだ者を私のところから移して、葬ることができます。」
- 5, ヒッタイト人たちはアブラハムに答えた。
- 6, 「ご主人、私たちの言うことをお聞き入れください。あなたは、私たちの間にあって神のつかさです。私たちの最上の墓地に、亡くなった方を葬ってください。私たちの中にはだれ一人、亡くなった方を葬る墓地をあなたに差し出さない者はありません。」
- 7, そこで、アブラハムは立って、その土地の人々、ヒッタイト人に礼をして、
- 8, 彼らに告げた。「死んだ者を私のところから移して葬ることが、あなたがたの心にかなうのであれば、私の言うことをお聞き入れくださり、ツォハルの子エフロンに頼んでいただきたいのです。」
- 9, 彼の畑地の端にある、彼の所有のマクペラの洞穴を譲っていただけるようにです。十分な価の銀と引き換えに、あなたがたの間での私の所有の墓地として、譲っていただけるようにしてください。」
- 10, エフロンはヒッタイト人たちの間に座っていた。ヒッタイト人のエフロンは、その町の門に入るヒッタイト人たち全員が聞いているところで、アブラハムに答えた。
- 11, 「いいえ、ご主人。どうか、私の言うことをお聞き入れください。あの畑地をあなたに差し上げます。そこにある洞穴も差し上げます。私の民の者たちの前で、それをあなたに差し上げます。亡くなった方を葬ってください。」
- 12, アブラハムは、その土地の人々に礼をし、
- 13, その土地の人々の聞いているところで、エフロンに告げた。「もしあなたが許してくださるなら、私の言うことをお聞き入れください。畑地の価の銀をお支払いします。どうか私から受け取ってください。そうすれば、死んだ者をそこに葬ることができます。」
- 14, エフロンはアブラハムに答えた。
- 15, 「では、ご主人、私の言うことをお聞き入れください。銀四百シエケルの土地、それなら、私とあなたの間では、何ほどのこともないでしょう。どうぞ、亡くなった方を葬ってください。」
- 16, アブラハムはエフロンの申し出を聞き入れた。アブラハムはエフロンに、彼がヒッタイト人たちの聞いているところにつけた価の銀を支払った。それは商人の間で通用する銀四百シエケルであった。
- 17, こうして、マムシに面するマクペラにあるエフロンの畑地、すなわち、その畑と、畑地にある洞穴と、畑地の周りの境界線内にあるすべての木は、
- 18, その町の門に入るすべてのヒッタイト人たちの目の前で、アブラハムの所有となった。
- 19, その後アブラハムは、マムシに面するマクペラの畑地の洞穴に、妻サラを葬った。マムシはヘブロンにあり、カナン地にある。
- 20, こうして、この畑地とその中にある洞穴は、ヒッタイト人たちの手から離れて、私有の墓地としてアブラハムの所有となった。

今月の賛美

17 主はぶどうの木

「わたしはぶどうの木で、あなたがたは枝です」
(ヨハネ15:5)

Danny Daniels 作詞
/Randy Rigby 作曲
染本伸行 訳詞

Chords: Eb, Fm/Eb, Eb, Ab

主はぶどうの木 わたしはえだです

Chords: Eb, 1. Fm7, Fm7/Bb, Bb, 2. Fm7, Bb7, Eb

いっつもはなれず に - みをむすぶ
ゆたかな

Chords: Eb, Db/Eb, Eb, Abmaj7, Fm7, Bb7, Gm, Cm7

みことばに - とどまり - あい

(Fine) みことばに とどまり

Chords: Fm7, Bb7, Ebmaj7, Eb7, Db/Eb, Eb, Abmaj7, Fm7, Bb7

に - いきるなら - この世 - は - 知るで
あい に いきるなら この世 は

Chords: Gm, Cm7, Eb/F, F7, Fm7, Bb

しょう - 主のすくいといやし -
知るでしょう

D.C.

使徒信条

キリスト教会の最古の信条で、普遍的に受け入れられ、告白される信条の一つです。

我は天地の造り主、全能の父なる神を信ず。
我はその独り子、我らの主、イエス・キリストを信ず。
主は聖霊によりてやどり、おとめマリヤより生まれ、
ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、
十字架につけられ、死にて葬られ、陰府にくだり、
三日目に死人の内よりよみがえり、
天にのぼり、全能の父なる神の右に座したまえり。
かしこよりきたりて生ける者と死にたる者とを審きたまわん。
我は聖霊を信ず。聖なる公同の教会、
聖徒の交わり、罪のゆるし、
からだのよみがえり、とこしえの命を信ず。
アーメン

主の祈り

主の祈りは、イエス様が「こう祈りなさい」と教えてくださった祈りです。ですから、「主の祈り（しゅのいのり）」と呼ばれています。翻訳によって言葉づかいは異なりますが、新約聖書マタイによる福音書6章9節～13節に書いてあります。

天にまします われらの父よ
願わくは御名をあげさせたまえ
御国をきたらせたまえ みこころの天になるごとく
地にもなさせたまえ われらの日用の糧を
今日も与えたまえ われらに罪をおかすものを
われらがゆるすごとく われらの罪をもゆるしたまえ
われらを試みにあわせず 悪より救いいたしたまえ
国と力と栄えとは 限りなくなんじのものなればなり
アーメン

御言葉メール紹介

★ 2021年9月28日御言葉

ローマ人への手紙 15章1～4節

1, 私たち力のある者たちは、力のない人たちの弱さを担うべきであり、自分を喜ばせるべきではありません。

2, 私たちは一人ひとり、霊的な成長のため、益となることを図って隣人を喜ばせるべきです。

3, キリストもご自分を喜ばせることはなさいませんでした。むしろ、「あなたを嘲る者たちの嘲りが、わたしに降りかかった」と書いてあるとおりです。

4, かつて書かれたものはすべて、私たちを教えるために書かれました。それは、聖書が与える忍耐と励ましによって、私たちが希望を持ち続けるためです。

聖書 新改訳 2017©2017 新日本聖書刊行会より引用。

●皆さんの周りや、皆さんは、自分に与えられた賜物（力）をどのように用いておられるでしょうか？自分で得た能力だから、自分の利益に使って何が悪い！？という考え方の人も世の中おられるかもしれません。しかし、本当に自分で得た「力、能力」なのでしょうか？私たちは、命をはじめすべて与えられたものではないでしょうか！？。永遠に持ち続けることができる物はこの地上ではないはずです。いろいろな私たちの能力は、もちろん求めて努力したからこそ、与えられたものもあるのは確かです。しかし、それぞれの個性や基本的な能力をはじめとする賜物は、神様からただ一方的な恵みとして与えられたものでしかないのです。

そこで今日語られている御言葉は、この与えられた力はどんな意味があって与えられているのか？また、どう使うべきかが書かれています。

その答えは？「力のない人たちの弱さを担う為」なのです。自分を喜ばせるために、与えられている力や賜物ではない。と語られています。そういわれると人生楽しみがない・・・と思われるかもしれませんが、実は、自分の力や賜物を用いて、他の人を喜ばせることができた時の喜びのほうが、自分で自分を喜ばせることの、何倍もの喜びであることを私たちは味会わなければならないのです。

私が若いころ、海外のクリスチャンの方々といっしょに言われてとてもうれしかった言葉があります。その言葉は、「あなたの喜びは私の喜びです」というものでした。この言葉は言われてとても感動しました。そう言われた時心に喜びで満ち溢れます。私たち日本人も、この視点に立てる者でありたいです。

その原点が、神様の救いの計画であったイエス様の十字架です。人となってこの地上に来られた神の子イエスキリストは、自分を喜ばせるためにこの地上に来られたのではなく、私たちを救うため、希望を持ち続けるために、来て下さったのです。私たちも、この神様の愛を素直に受け、自分自身の与えられた賜物（力）を他の人の為に喜んで使っていける者でありたいです。では、今日も一日互いに賜物を活かしあい歩めるよう祈ります。

原市場聖書教会

若村和仁

頌 栄

聖歌383

「ちち・みこ・みたまの」

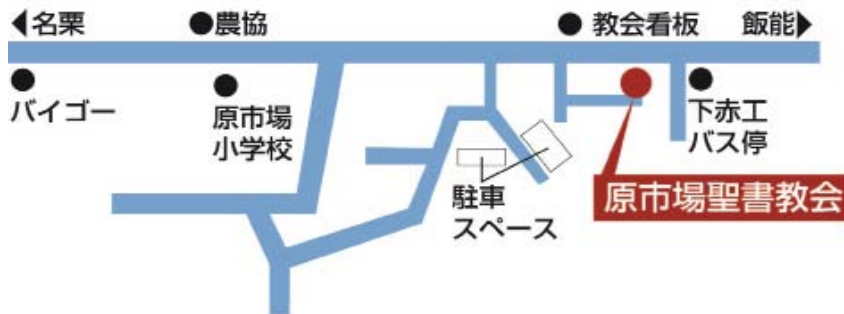
To Father, Son, and Holy Ghost
Tate and Brady, c. 1700 (UN)

ORTONVILLE
THOMAS HASTINGS, 1837

♩ ややはやく ♩ = 104

ちち・みこ・みたまのおおみかみにーとこしえか

わらずみさかえあれーみさかえあれーアメン



埼玉県飯能市下赤工 396-6 tel:042-977-0254
<http://hbc.holy.jp/>

教会ホームページ <http://hbc.holy.jp/> Eメール hibawaka@aol.com

■ 集会案内 ■

主日礼拝	日曜あさ	10:30-12:00
ハレルヤキッス	日曜あさ	9:30-10:10
夕拝(第一は休み)	日曜夕方	17:00-18:00
祈り会	水曜	10:30-12:00
赤毛のソ	第2第4火曜日	10:00-13:00
こひつじタイム	第1第3火曜日	10:30-12:00
ハレルヤキッススペシャル	ひと月一回(日曜か土曜日)	14:00-16:00



原市場聖書教会

〒357-0126 飯能市下赤工 396-6

TEL:042-977-0254

FAX:042-981-7200

牧師:若村和仁